

文化審議会世界文化遺産・無形文化遺産部会
世界文化遺産特別委員会第2ワーキンググループ（第1回）
議事要旨

1. 日時：平成25年6月3日（月）13：00～15：10

2. 場所：中央合同庁舎第7号館東館（文部科学省）16階 16F2会議室

3. 出席者：（委員）佐藤信座長、西山徳明委員、尼崎博正委員、上野邦一委員、服部英雄委員、藤井恵介委員、藤井譲治委員
（文化庁）榎本記念物課長、小林世界文化遺産室長、本中主任文化財調査官、
西文化財調査官

4. 議事要旨

- ・ワーキンググループの議事開始にあたり、本会の審議が世界遺産一覧表への推薦候補に関する調査であることから、会議は非公開で行うこととし、後日、議事要旨を公開することとした（「文化審議会世界文化遺産・無形文化遺産部会世界文化遺産特別委員会ワーキンググループの設置について」4による）。
- (1) 「武家の古都・鎌倉」について、イコモス勧告を受けた世界遺産委員会の対応について報告された。
- (2) 「彦根城」の検討の進捗状況について文化庁より報告され、意見交換が行われた。委員からは、資産範囲等に関する推薦自治体の考え方についての再確認が必要等の質疑と意見交換があった。
- (3) 「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」について、文化庁より概要の説明があった後、質疑応答及び意見交換が行われた。その中で、①無人島等における教会の長期的な保存管理、あるいは資産全体としての保存体制の重要性、②推薦書案の表現等について、質疑と意見交換があった。審議の結果、第2WGとして、本日の指摘に対応しながら、本年度の推薦が可能と特別委員会に報告することとされた。